



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 新日本理化学株式会社

コード番号 4406 URL <http://www.nj-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長兼経理部長

(氏名) 石野 淳

TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	21,292	△3.0	△238	—	△144	—	△249	—
24年3月期第3四半期	21,939	0.2	350	△24.6	467	△14.7	403	△43.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △162百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 92百万円 (△78.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△6.69	—
24年3月期第3四半期	10.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	32,489	12,251	35.6	310.24
24年3月期	33,196	12,609	36.0	320.10

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 11,568百万円 24年3月期 11,936百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△1.6	△220	—	△90	—	△260	—	△6.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	38,008,906 株	24年3月期	38,008,906 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	718,938 株	24年3月期	718,223 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	37,290,213 株	24年3月期3Q	37,292,442 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、海外景気減速の影響による輸出減や個人消費の低迷により成長が鈍化しました。また、期後半において政権交代による景気回復への期待感から株価の回復や為替も円安傾向となりましたが、当第3四半期連結累計期間を通じて株式市場の低迷や円高の影響から、依然として厳しい状況下で推移しました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、原料価格の変動に応じた販売価格への是正に取り組むとともに、顧客ニーズに対応した新製品の開発に注力いたしましたほか、海外事業の拡大に向け新興国での販売展開に努めてまいりました。また、コスト面におきましては生産・物流、その他あらゆる諸経費の削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

しかしながら、これらの諸施策によりましても、円高継続による輸入品の流入や原料価格の高騰の影響など極めて厳しい環境下にありました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は212億9千2百万円（前年同四半期比3.0%減）となり、損益面では、営業損失2億3千8百万円（前年同四半期は3億5千万円の営業利益）、経常損失1億4千4百万円（前年同四半期は4億6千7百万円の経常利益）、四半期純損失2億4千9百万円（前年同四半期は4億3百万円の四半期純利益）を計上する結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## 油脂製品セグメント

脂肪酸・グリセリン等の油脂製品部門では、ステアリン酸が輸入品との競合に苦戦を強いられる一方で、国内原料油脂相場が高値圏で推移いたしましたことから、低調な販売となりました。

アルコール製品部門では、飽和アルコールは積極的な拡販に努めましたことから若干の回復をいたしました。また、依然として繊維油剤向けの販売不振が続きました。また、不飽和アルコールでは輸出販売が復調傾向にありますものの、アルコール製品部門全体では販売数量、売上高ともに前年を下回る結果となりました。

以上の結果、油脂製品セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は70億1千6百万円（前年同四半期比17.5%減）、セグメント損失は2億4千7百万円（前年同四半期は1億8千9百万円のセグメント利益）となりました。

## 石化製品セグメント

化成部門では、可塑剤やベンゼン誘導体が安価な輸入品流入の攻勢を受け、販売面において厳しい状況が続くなか、原料ナフサの高騰に伴い積極的な販売価格の是正に取り組んでまいりましたが、期後半の円安傾向に加えて輸入原料価格が高騰したため採算面に大きな影響を及ぼしました。

機能製品部門は、長引く電機関連業界の需要低迷とエコカー補助金終了に伴う自動車減産を受け、販売数量、売上高ともに減少いたしました。一方、主原料の調達難を主因に、輸出におきましては製品出荷の大幅な減少を余儀なくされましたものの、販売価格の見直しを実施いたしましたことから、売上高は微増となりました。

以上の結果、石化製品セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は124億2千9百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント損失1千3百万円（前年同四半期は1億3千8百万円のセグメント利益）となりました。

#### その他セグメント

その他セグメントにおきましては、業務用洗剤は需要低迷により減少いたしましたものの、金属加工剤が堅調に推移いたしました。また、商社部門の販売が順調に推移いたしましたため、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

以上の結果、その他セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は18億4千6百万円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益1千9百万円（前年同四半期比8.8%減）となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前年度末比△2.1%、金額で7億6百万円減少の324億8千9百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などにより前年度末比△7.8%、金額で14億2千9百万円減少の169億3百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が増加したことなどにより前年度末比+4.9%、金額で7億2千2百万円増加の155億8千6百万円となりました。

流動負債につきましては、短期借入金が増加したことなどにより前年度末比+10.7%、金額で12億8千1百万円増加の132億1千5百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金の減少などにより前年度末比△18.8%、金額で16億3千万円減少の70億2千2百万円となりました。

純資産につきましては、剰余金の配当、四半期純損失の計上などにより前年度末比△2.8%、金額で3億5千7百万円減少の122億5千1百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は35.6%となりました。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想に関する事項につきましては、本日（平成25年2月12日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

#### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

#### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,499	1,776
受取手形及び売掛金	11,237	10,567
商品及び製品	1,782	2,087
仕掛品	1,647	1,226
原材料及び貯蔵品	1,051	1,154
その他	115	93
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	18,332	16,903
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,464	3,464
その他(純額)	5,369	5,977
有形固定資産合計	8,833	9,441
無形固定資産	158	97
投資その他の資産		
投資有価証券	5,485	5,641
その他	389	409
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	5,872	6,047
固定資産合計	14,863	15,586
資産合計	33,196	32,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,561	6,322
短期借入金	1,862	3,085
1年内返済予定の長期借入金	1,664	1,840
1年内償還予定の社債	37	37
未払法人税等	76	15
賞与引当金	247	84
その他	1,484	1,830
流動負債合計	11,934	13,215
固定負債		
社債	352	328
長期借入金	4,758	3,338
退職給付引当金	1,981	1,943
役員退職慰労引当金	46	47
負ののれん	343	254
その他	1,170	1,109
固定負債合計	8,652	7,022
負債合計	20,586	20,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	2,821	2,385
自己株式	△169	△170
株主資本合計	12,558	12,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366	364
為替換算調整勘定	△988	△918
その他の包括利益累計額合計	△621	△553
少数株主持分	672	682
純資産合計	12,609	12,251
負債純資産合計	33,196	32,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	21,939	21,292
売上原価	18,400	18,200
売上総利益	3,539	3,091
販売費及び一般管理費	3,188	3,329
営業利益又は営業損失(△)	350	△238
営業外収益		
受取配当金	102	86
負ののれん償却額	89	89
持分法による投資利益	99	98
その他	29	20
営業外収益合計	319	294
営業外費用		
支払利息	123	100
その他	78	99
営業外費用合計	202	200
経常利益又は経常損失(△)	467	△144
特別利益		
固定資産売却益	65	—
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	71	—
特別損失		
固定資産売却損	26	—
固定資産除却損	50	26
その他	—	6
特別損失合計	77	32
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	461	△176
法人税、住民税及び事業税	74	52
法人税等調整額	△72	1
法人税等合計	1	54
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	459	△230
少数株主利益	55	18
四半期純利益又は四半期純損失(△)	403	△249

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	459	△230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△219	△2
繰延ヘッジ損益	14	—
為替換算調整勘定	△7	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△155	63
その他の包括利益合計	△367	68
四半期包括利益	92	△162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36	△181
少数株主に係る四半期包括利益	55	18

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,509	11,589	20,099	1,840	21,939	—	21,939
セグメント間の内部 売上高又は振替高	351	760	1,111	183	1,295	△1,295	—
計	8,860	12,350	21,211	2,023	23,235	△1,295	21,939
セグメント利益	189	138	328	21	349	0	350

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業及び保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,016	12,429	19,446	1,846	21,292	—	21,292
セグメント間の内部 売上高又は振替高	330	823	1,153	189	1,343	△1,343	—
計	7,347	13,253	20,600	2,035	22,635	△1,343	21,292
セグメント利益又は 損失(△)	△247	△13	△260	19	△240	2	△238

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業及び保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。